

増築棟の目指す姿（B グループ）

②災害に強く安全な庁舎

- ・ 水害に備えて、備蓄品、非常用発電（燃料）、電気、水、システム系については、上階へ配置
- ・ 対策本部や職員の拠点も災害時には上階へ配置
- ・ 水害に耐えられる高さの立体駐車場等の整備
- ・ 災害時においても、ネットワークを維持できる環境の整備

③環境にやさしく経済的な庁舎

- ・ 太陽光をはじめとする様々な自然エネルギーを活用した庁舎
- ・ 採光や自然換気に配慮した建物デザインとし、省エネを図る
- ・ フリーアドレスを利用し、省エネを図る
- ・ 雨水の再利用（トイレ排水）
- ・ 空調等について使用室のみ稼働させ、使用エネルギーを分散、集約する
- ・ 高効率の省エネ機器の導入
- ・ ZEB Oriented 相当の建設物となることを目指す
（延べ床面積 1 万平米以上の建物で、「基準となるエネルギー消費量から、建物の用途ごとに設定されたエネルギー消費量の削減（事務所や学校、工場などで 40%、ホテルや病院などで 30%）すること」を指す）

【グループ A から出た意見】

- ・ 窓と照明器具をバランスよく配置し、執務室内の必要な照度が確保された庁舎
- ・ 窓を設けない諸室などについては、換気に十分に配慮するとともに、メンテナンス性の優れた換気設備を選定すること
- ・ 増築棟に設置する窓ガラスは、外気を取り込むための開閉が可能であり、遮熱性・断熱性の高い製品を選定すること